

泉だより vol. 69

発行／医療法人 栄和会 広報委員会

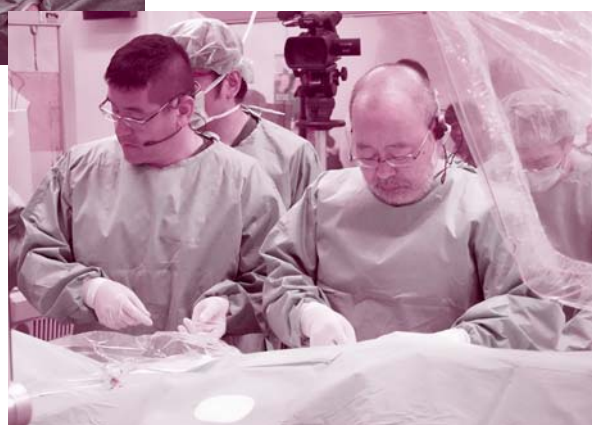
2018.9月



【栄和会 経営理念】悩める人を癒し、苦痛を和らげ、心を慰め、そして病気の予防を



第9回 IZUMIKAWA LIVE



平成30年7月14日(土)、泉川病院にて第9回目となります心臓カテーテル治療に関する研究会が行われました。今年から、恒例の『IZUMIKAWA LIVE』を、『STIC: SHIMABARA Transradial Interventional Conference 2018』島原半島での心臓カテーテル研究会という形式で名称を変更し開催しました。

第一部はゲストの医師・医療従事者を招きコメディカルセッションを行いました。医療従事者の知識・技術を高めることを趣旨にして、ゲストの医師が治療を進めていく中で、他の医師と医療従事者が映像を見ながら討論会が行われ、参加された医療従事者の方々から参考になったと喜びの声を頂きました。

第二部は『神の手』と称される齋藤滋先生の最先端技術を駆使したライブデモンストレーションを見ながら、参加して頂いた御高名な先生方と、これからを担っていく先生方により討論会が行われ、参加された先生方にとっては有意義な場となりました。

また、ミニレクチャーでは、参加された先生方より、

各メーカーの最新の治療用材料、使用状況などを紹介され、参加者の皆様には大変有意義な時間となりました。

島原心臓カテーテル研究会という形式での開催は初めての試みでありましたので、不安がありましたが、参加された多くの先生方・医療従事者、メーカー各社の方々に御協力頂き、大盛況のうちに終えることができました。

このような当院による催しが、長崎県及び島原半島における循環器医療・救急医療の更なる充実に貢献できたらと思っております。これからも地域貢献・社会貢献ができますように職員一同団結し、邁進していく所存であります。最後に、ご多忙の中、御参加頂いた皆様、医師・コメディカルの方々、また御協力頂きました医療関係者の皆様に、厚く礼申し上げます。

臨床工学技士 下田 康一郎

第6回 市民公開講座

今年も市民公開講座を無事に終えることができました。

皆様に多くのものを持ち帰っていただきたいという思いで開催させていただきました。今年の内容は、院長による「心臓病・足の疾患の病気」、看護師による「AEDと心肺蘇生法」、栄養士による「血管力を高めよう」の3部構成で進めて参りました。院長の講義により多くの方に心臓や足の疾患について理解していただき、次に看護師による心肺蘇生法について学んでいただき、最後に栄養士による、健康を維持するための食事の方法についてランチョン形式で、参加者の方々に密着した形で講義を賜りました。

今年も、皆様の笑顔や、明るい表情を見ることができ、企画に参加できたことに感謝しています。行き届かないこともあり、ご迷惑をお掛けして、申し訳ないと思いますが、第6回の市民公開講座が無事に終えることができたことは、ひとえに皆様のご協力、ご支援あつての賜物と心よりお礼申し上げます。毎年皆様へ届ける思いで開催させて頂いておりますが、市民の皆様からの要望などがあれば参考にしたいと思いますので、気兼ねなく申し付けください。これからも地域住民の皆様のお力になれるよう前に進んでまいりますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

看護師 内田 祐仁



心臓リハビリテーションとは？

今年度の心臓リハビリテーションライブでは、心臓リハビリについての講話、ストレッチ、筋力訓練に加えリズム体操を行いました。心臓病の方のみならず、様々な病気をお持ちの方も参加されました。一般的に有酸素運動は健康に良いと言われながらも、なかなか実践に移すことが難しいものです。散歩やジョギングはもちろんですが、室内で取り組める体操を行い、参加者の方からも大変ご好評を頂きました。来年度も皆様に楽しんで頂けるよう取り組んで行きたいと思います。

リハビリテーション 藤原 健一



相次ぐ災害に注意しましょう

この度の「大阪北部地震」および「西日本豪雨災害」で被災された皆様に、心より御見舞い申し上げます。

「九州北部豪雨災害」から1年が経った今年の7月、またしても豪雨災害が発生しました。「西日本豪雨災害（図1）」です。この災害は広い地域に数日に渡り大雨を降らせ、及ぼした被害は1ヶ月経った今も住民を苦しめています。

最近では、このような災害レベルの「豪雨」や「酷暑」がニュースを騒がせていますが、「地震」による災害は相変わらず繰り返し起こっています。近くでは2016年に震度7を2度観測し、267名の死亡と2,804名の負傷者を出した「平成28年熊本地震」や同年発生した「鳥取県中部地震」、今年6月に発生した「大阪北部地震」では最大震度6弱の地震で、4人の死亡と434人の負傷者を出しています。地震は予測が難しいため、「いつ」、「どこに」発生するのかわかりません。また2000年以降、震度5以上の地震は全国で急増しており（図2）、今年に入っすでに震度5以上を9回、震度4以上では46回を観測しています（2018/7/31現在）。

「まさか続けて災害が起こるなんて・・・」、「まさか自分が災害に遭うなんて・・・」と思いがちですが、ここ島原半島でも「平成28年熊本地震」の時は震度6を受けており、「西日本豪雨災害」の時には避難を迫られています。今は落ち着いていますが、活火山の普賢岳もあります。

ではどうすればよいのか・・・

以前の「泉だより」でも案内させていただいたように、日頃の「備え」が大事です。私たち泉川病院の災害医療派遣チームでも日頃から「備え」を行っており、6月18日の「大阪北部地震」と7月初旬の「西日本豪雨災害」と災害が続きましたが、直ちに準備を行い、「大阪北部地震」では高槻市へ、「西日本豪雨災害」では倉敷市真備町へ出動し医療支援を行ってきました。（図3）

当チームでは、「備え」を日頃から行っていたことで、非常事態に対応することができました。日常生活でも同じです。非常事態に備えておくことで、自分の命を、そして家族の命を守ることができると思っています。必需品の準備はもちろんのこと、気持ちの準備も日頃からしておきましょう。

泉川病院ではこれからも医療だけではなく、このような非常事態に少しでも皆様が安心できるような「備え」を行い、できる限り多くの地域の方々をお守りすることができるように、努力していきたいと思っています。

災害医療派遣チーム 岩永瑞希



図1 西日本豪雨災害による被害（倉敷市真備町）

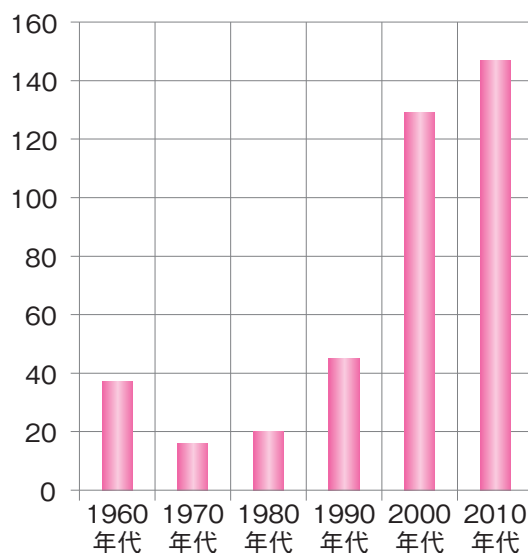


図2 「震度5」以上の地震発生回数



図3 倉敷市真備町での医療支援活動

災害医療派遣訓練に参加して

「日本はもうじき消滅するかもしれません」私が災害医療に興味を持った、TVのコメンテーターの一言です。近年増加する自然災害に対応するために自分には何ができるのか…

院長指揮の下、すばやい動き・細やかな気配りのできる当院災害医療チームならではの訓練に参加させて頂いて3回目。連日の猛暑の中、「サーチ&レスキュー」・「トリアージ」・「処置・搬送」の再確認を行いました。特に今回は津波の二次災害を想定し、被災者を本部から病院の2階へ移動避難させる方法を学びました。「あるものを有効に利用する」院長の一言がとても頭に残っています。毎回違う状況設定で、常にチームとして自分に求められた役割を考えながら動く事の難しさを感じています。

必要なのは状況に応じた的確な判断力・看護力・体力、そしてチームワーク。

災害はいつ起こるかわかりません。災害時に慌てる事のないう、自分自身を普段から準備していきたいと思います。

透析室 熊谷 友紀



職員紹介シリーズ

第5回

栄養部 吉永 友和

看護部 吉永 みえ

夫婦で泉川病院に入社しており、現在2人とも泉川病院に併設されている「介護老人保健施設フォンテ」で勤務しています。

主人は得意とする調理技術を活かし、視覚・味覚・臭覚を大切にしながら利用者さんやスタッフの方に、いかにおいしく・安全に食事を提供できるか自宅でも話をしています。

私は勤続20年を迎え、ずっと病棟勤務をしていましたが、今年の春から「フォンテ」へ異動となり新たな環境で学びを深めています。

私たちには3人の娘がいて、長女は私と同じ「看護の道」を選択し、現在猛勉強に励んでいます。次女は高校で吹奏楽に所属しており、マーチングではドラムメジャーで部を率いています。最後に末っ子の3女は、ピカピカの小学1年生！一番のおてんばで甘えん坊です。以上5人家族でDIYから裁縫までこなす父と、口やかましい母で成立し（笑）、毎日楽しく過ごしています。

最後に、夫婦ともに同じ職場で働くメリットはたくさんあり、勤務調整などの配慮も十分に頂き子育てで大変助かっています。これからも職場理念にある「地域社会に貢献し、愛され、信頼される」を目指し夫婦共々頑張っていきたいと思っています。



栄和会 夏祭り



今年度の栄和会夏祭りには大勢の方々が来場して下さいました。フラダンスの演舞をはじめ、ラムネの早飲み競争やスイカの早食い競争など大変盛り上がり、また盆踊りでは地域の皆さまと職員が一体となり、和気あいあいとした時間を過ごすことが出来ました。毎年恒例となりますバザーも大盛況で、売上金は福岡県東峰村への義援金として寄付させていただきます。ご協力ありがとうございました。

夏祭り実行委員会



新人紹介



管理
石田 直正



リハビリ助手
志方 亜弥



看護
茂 美由紀



介護
平山美由紀

第11回



トマトとなすのカプレーゼ風



材料 約4人分

トマト(中) 3個
なす(中) 3本
油(焼き油) 適量
バジル 8枚

★ ブラックペッパー又は
塩こしょう ひとつまみ
オリーブオイル 大さじ2
モッツアレラチーズ 100g

作り方

- ① トマトはへたをとり、5mm幅にスライス
- ② なすは皮つきのまま5mm幅にスライスし、焼く
- ③ モッツアレラチーズは食べやすい大きさにちぎる
- ④ 浅い皿に①・②・バジルを交互に並べ、中央にモッツアレラチーズを飾る
- ⑤ ★を混ぜ合わせ、④にかけ完成

1人分のエネルギー
170kcal
たんぱく質 3.5g

モッツアレラチーズは、生ハムや水切り豆腐と代替えしアレンジしても美味しくいただけます。

トマトには、カロテン・ビタミンCが豊富です。果実の赤色はリコピンという赤いカロテノイド系色素によるものです。



リコピンには、β-カロテンの倍の抗酸化作用があり、がんや動脈硬化等を防ぐといわれています。熱にも強く、脂溶性のため油によって吸収率が高まります。トマト以外にも、すいか・柿・赤いグレープフルーツ等に含まれます。

